

約 500 名の市民らが集い、「千葉大学サテライトキャンパス美浜」開校！
教員・学生・市民が連携し、少子高齢時代の地域課題に取り組む学際研究拠点が誕生
-文部科学省 地（知）の拠点整備事業「クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学」-

本日、千葉大学 コミュニティ再生・ケアセンターは、文部科学省の大学 COC 事業の一環として、千葉市美浜区の廃校小学校にて「千葉大学サテライトキャンパス美浜」を開校いたしました。

■「千葉大学サテライトキャンパス美浜」について

千葉大学では、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」の採択を受け、「クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学」を形成するため、文系理系合わせて9学部を持つ総合大学の強みを活かし、市民・教員・学生が連携する学際的な地域研究の取組みを進めています。千葉海浜ニュータウンをモデル地区とし、市から借り受けた廃校小学校を活用した当サテライトキャンパスでは、地域の課題解決・活性化に向け、少子高齢社会のまちづくりや地域福祉、子育てなどに関する公開講座、コミュニティビジネス、アートを介したまちづくり、地域の課題解決ゼミナールなどの地域研究や地域活動を行ってまいります。



■オープニングイベントの様子（右写真参照）

本日 13:30、旧高浜第二小学校で開校式を行いました。千葉市の熊谷俊人市長、千葉大学長の徳久剛史から挨拶があり、集まった約 200 名の市民や関係者と共に、開校を祝いました。オープニングイベントでは、キャンパス内の教室や体育館で、子ども向け、親子向け、高齢者向けなど様々なワークショップや展示が行われ、市長と学長もひとつひとつ見て回るキャンパスツアーを行いました。イベントに訪れた市民や関係者は子どもから高齢者まで約 500 名で大賑わいでした。



当日の様子などは Facebook で更新中 <https://www.facebook.com/cocchiba>

千葉大学長 徳久剛史コメント

千葉大学は大学 COC 事業を通じて、全学的に地域に根差した教育や研究を行い、地域の課題に対して、総合的に取り組んでいます。当キャンパスは市民の方々と課題を共有しながら教員の専門性を活かして活動する事業の拠点としたいと思います。

千葉市 熊谷俊人市長コメント

多くの高度・専門人材を抱え、輩出されている千葉大学の地域に根差した教育は、市も非常に心強く感じており、今回の「サテライトキャンパス」にも大いに期待するとともに、本市の魅力あるまちづくりに向け、一層の連携をお願いしたいと考えております。

本件に関するお問い合わせ先

千葉大学コミュニティ再生・ケアセンター 担当) 石川永子
Tel : 代表 043-251-1111 (内線 2927) E-mail : eishikawa@chiba-u.jp